

GW-3 簡易取扱説明書

GW-3 はシリーズで同様の操作手順となっているため、
本資料では GW-3(CO)をベースに説明を行います。

各部名称

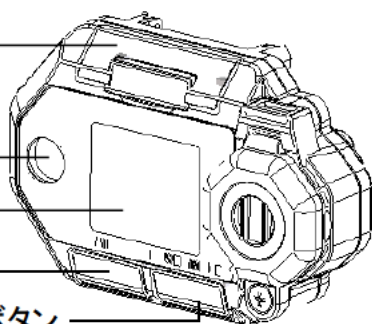
① 警報ランプ

② ブザー放音口

③ LCD 表示部

④ AIR ボタン

⑤ POWER/MODE ボタン

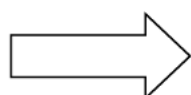


- ① 警報時にランプが赤く点滅します。
- ② 操作音や警報音を放出する口です。
- ③ ガス濃度などを表示します。
- ④ エア校正を行います。
- ⑤ 電源を入/切します。

使用方法

1.電源の入れ方

ブザーがピッと鳴るまで[POWER/MODE ボタン]を押し続けます(3 秒以上)。
各種情報が順次表示がされた後に、ピッピッと 2 回鳴ったら測定状態となります。

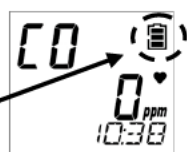



2.使用前点検


2-1.電池残量の確認

本体が測定画面に遷移した後、電池残量表示を確認して下さい。
電池残量が 1 個または点滅している場合には電池の交換※を行って下さい。
※「5.電池の交換」をご確認下さい。

電池残量表示



 : 十分に残っています

 : 少なくなっています

 : 充電して下さい

更に電池残量が低下すると電池残量表示が点滅します。

2-2.フィルターのチェック

本器右側のセンサ部に付属しているダストフィルターが汚れていないこと、目詰まりがないことを確認して下さい。
フィルターに汚れなどが確認された場合は、フィルターの交換を行って下さい。

※フィルターの交換方法については、取扱説明書を参照して下さい。



センサ部

警告: フィルターに汚れや目詰まりがあると、正確な検知を行えないことがございます。

使用方法

3.エア校正の仕方

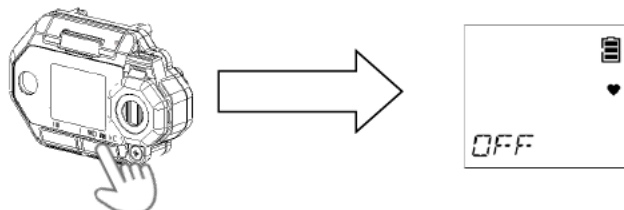
ガス濃度を測定する前にエア校正を行って下さい。
測定画面で、[AIR ボタン]を長押しし、ピッピッと音が 2 回鳴り LCD 下部に RELEASE が表示されたらボタンを離して下さい。ガス濃度表示がゼロ(酸素は 20.9%)になります。
本作業が完了し測定画面に遷移しましたら、正常な検知が可能となります。



警告:新鮮な大気中以外で行うと、正しい校正が行えずガスが漏洩した場合に危険です。

4.電源の切り方

ブザーがピッピッピッと 3 回鳴るまで[POWER/MODE ボタン]を押し続けます(3 秒以上)。
LCD 表示が消えたら電源 OFF となります。

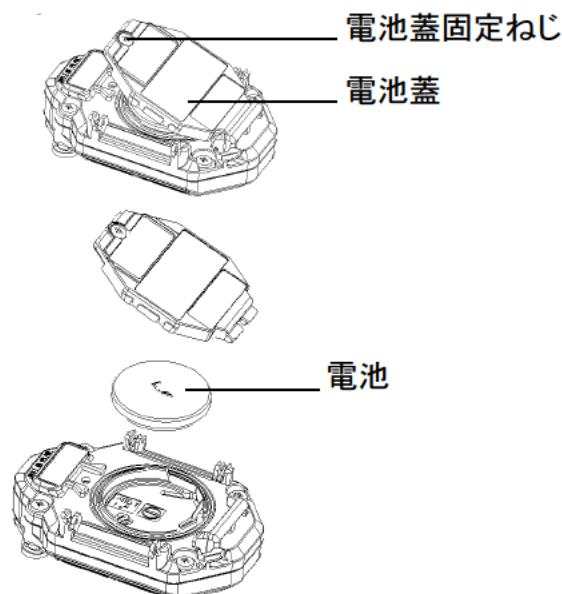


5.電池の交換

電源を切り、プラスドライバーで電池蓋固定ねじを緩め、電池蓋を開けて下さい。

古い電池を取り出し、電池の極性※に注意して新しい電池を入れて下さい。
※本体内部に電池の極性が刻印されています。

電池蓋を閉め、電池蓋固定ねじをプラスドライバーで締めて下さい。
プラスドライバーの締め付けトルクの目安は 15~16 N・cm です。



警告:電池交換は非危険場所で行って下さい。